

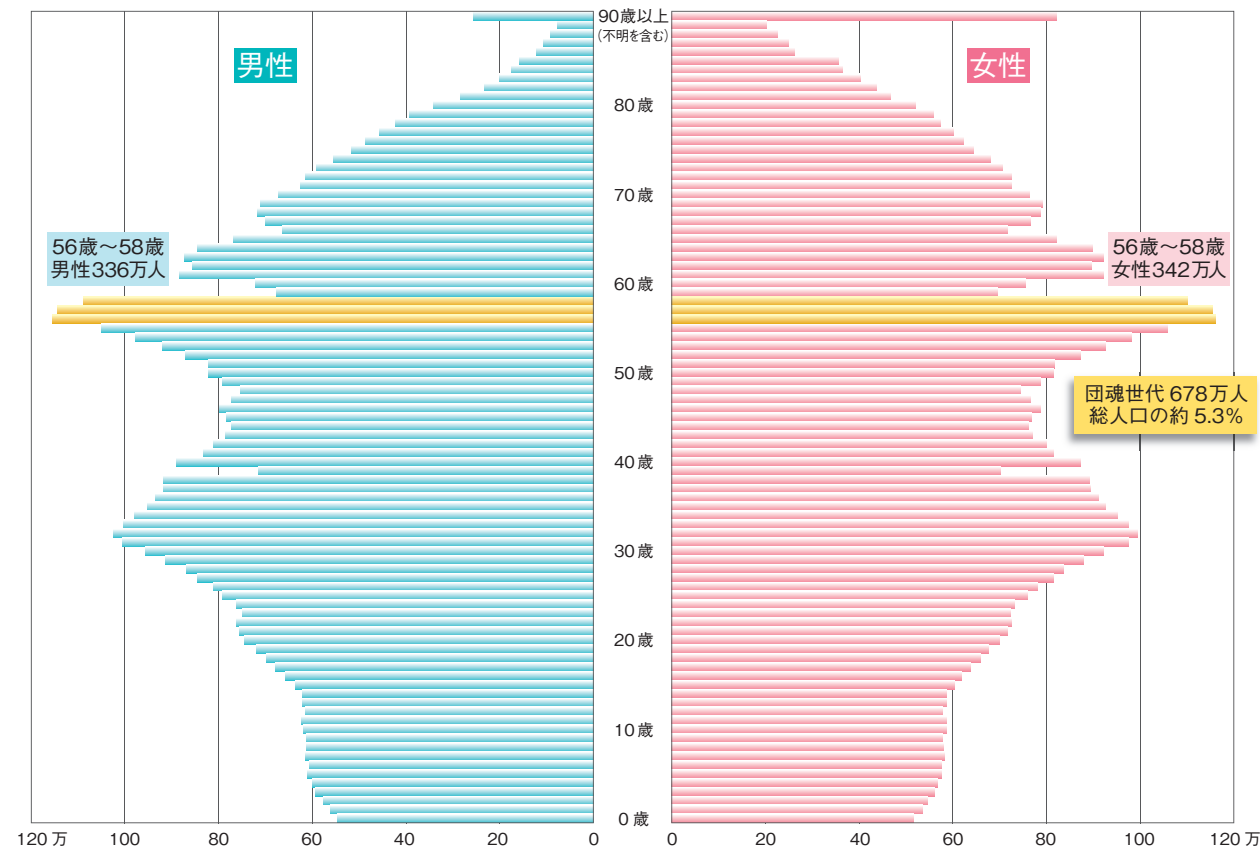
データで見る団塊世代のプロフィール

ここでは、団塊世代の人材を活用した取り組み手法を検討するにあたり、対象となる団塊世代のプロフィールを示します。

人口、就業状況、意識、志向について、各種調査の結果を整理しました。

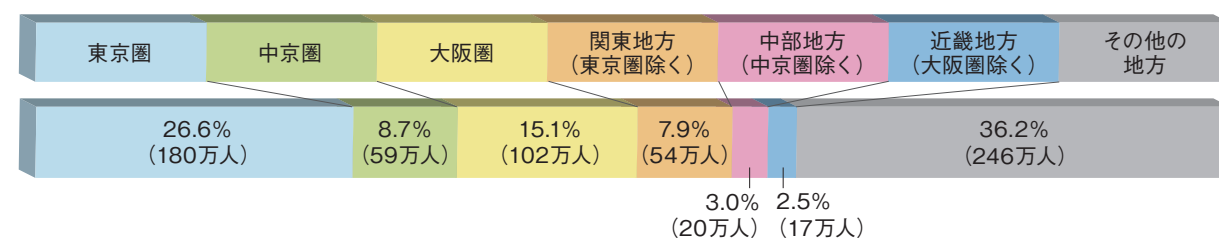
1. 人口構成と地域分布

- ・ 2005 年現在、56 歳～ 58 歳（1947 ～ 1949 年生）の団塊世代は 678 万人で、総人口の 5.3%。
- ・ このうち、3大都市圏に居住する団塊世代は 341 万人で、全体の 50.4%。



総務省統計局 HP「平成17年国勢調査 第1次基本集計結果（全国結果）統計表」より作成

団塊世代の居住地域分布（2005年）

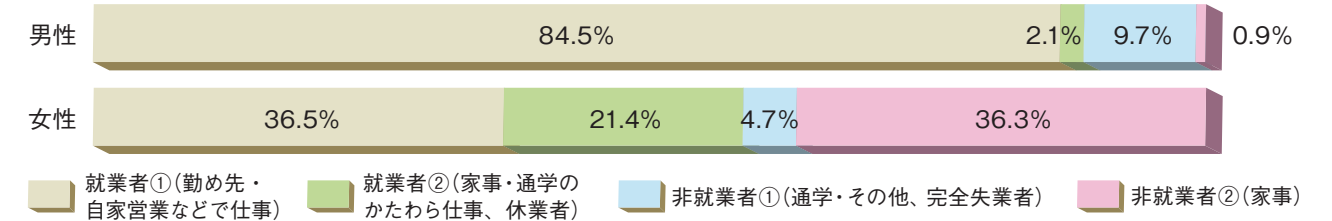


総務省統計局 HP「平成17年国勢調査 第1次基本集計結果（全国結果）統計表」「国勢調査結果の時系列データ」より作成

2. 就業状況

- ・ 男性の 9 割（86.6%）、女性の 6 割（57.9%）が仕事をしている。

団塊世代の就業状況（55 ～ 59 歳／ 2005 年）

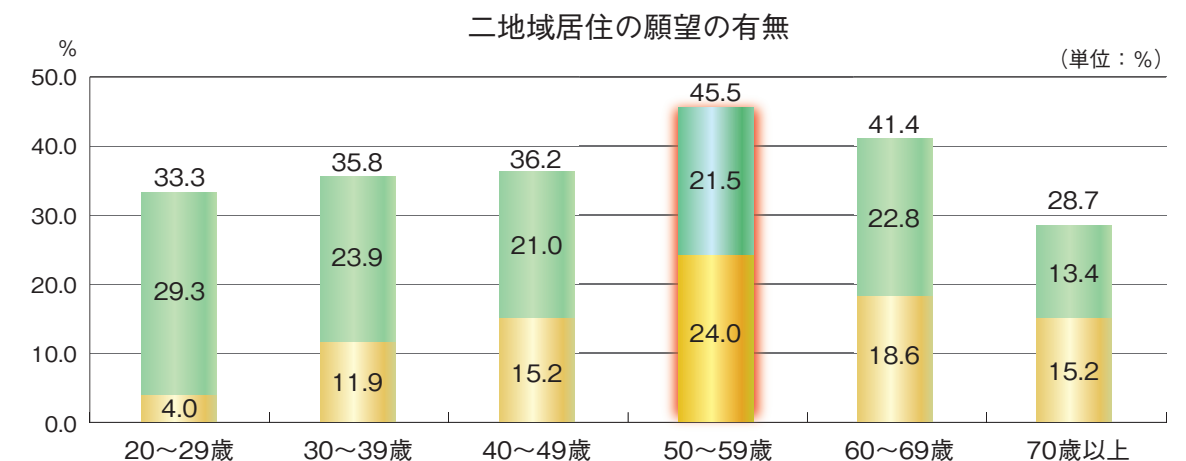


総務省統計局 HP「平成17年国勢調査 第2次基本集計結果（全国結果）統計表」「国勢調査結果の時系列データ」より作成

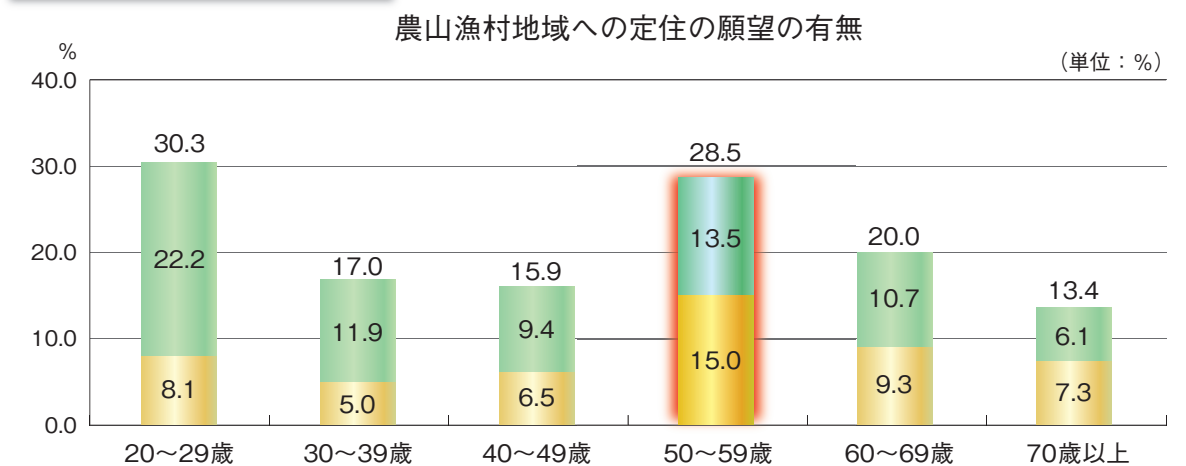
3. 団塊世代の意識

① 居住

- ・ 二地域居住への願望がある人は 5 割（45.5%）と各年代の中で最も高く、すでに実践している人は 2.5%。
- ・ 農山漁村地域への定住の願望がある人は 3 割（28.5%）。



出典：内閣府 HP「平成17年11月 都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査」

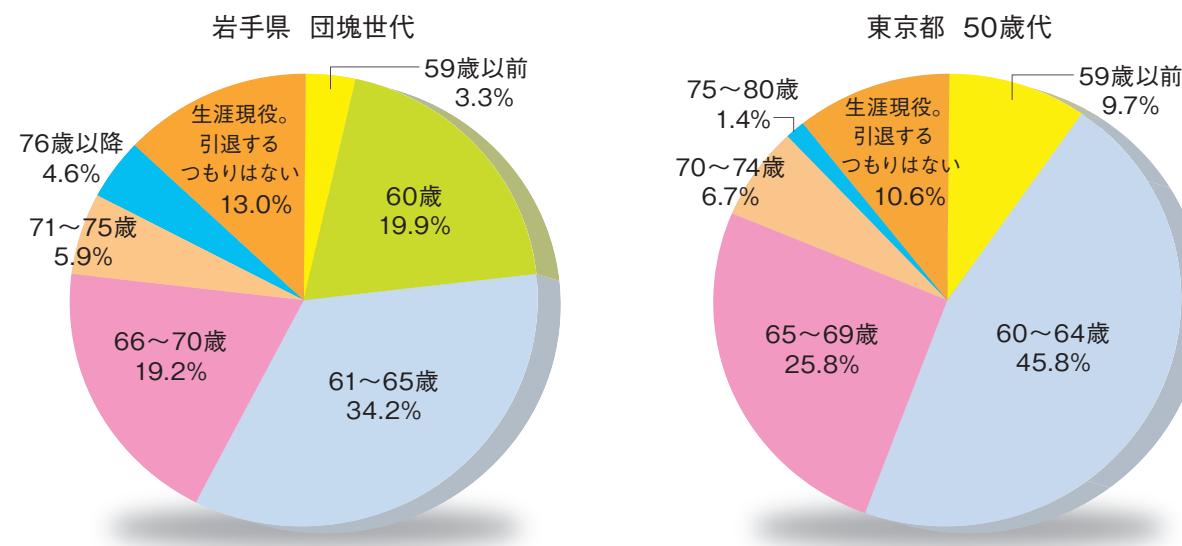


出典：内閣府 HP「平成17年11月 都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査」

② 労働・仕事

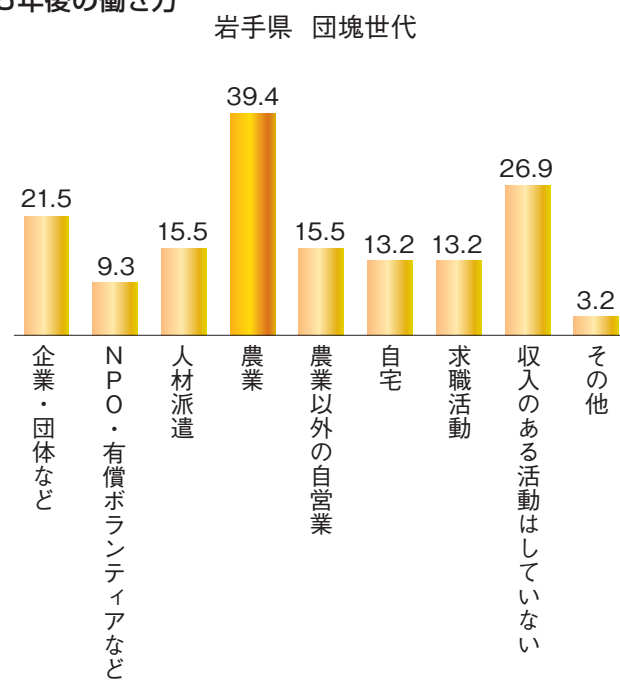
- ・ 地方部（13.0%）、都市部（10.6%）とも1割が生涯現役。一方、都市部では1割（9.7%）が59歳以前に引退。
- ・ 5年後の働き方として、地方部では農業が4割（39.4%）。都市部では現在の事業を続ける（42.3%）、新たに事業を始める（39.9%）がともに4割。

収入ある活動からの引退時期

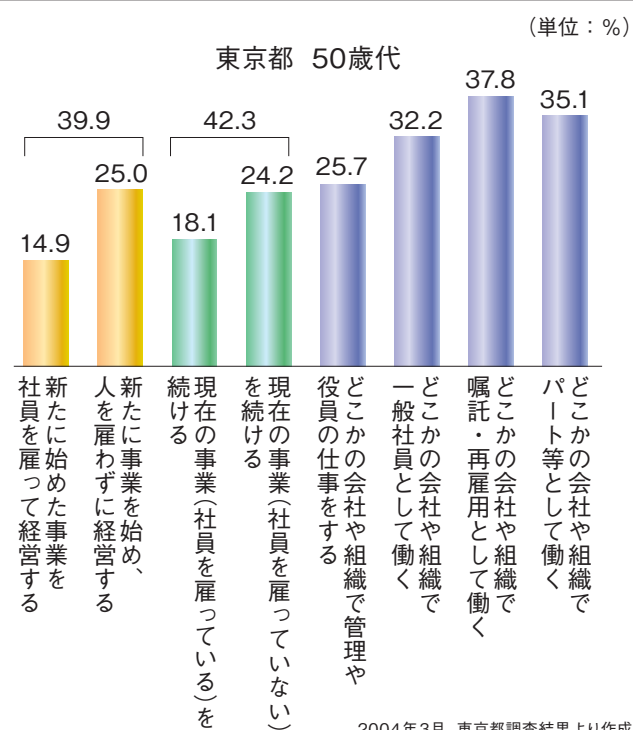


2005年11月 岩手県調査結果、2004年3月 東京都調査結果より作成

5年後の働き方



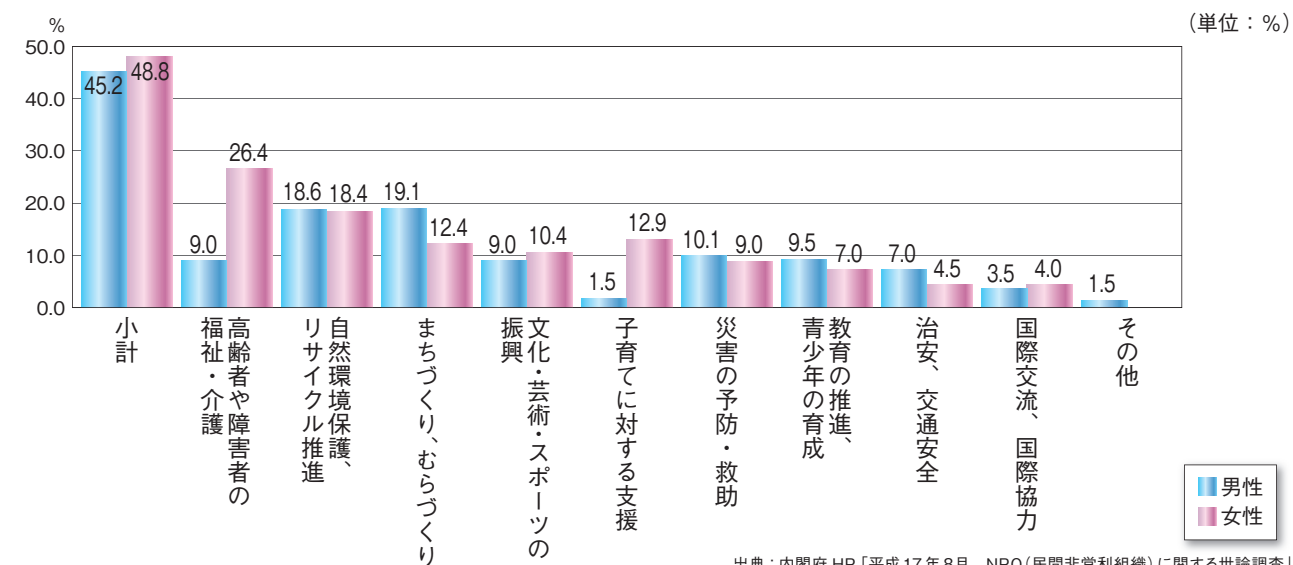
2005年11月 岩手県調査結果より作成



2004年3月 東京都調査結果より作成

③ 社会参画への意識

- ・ 5割（男性 45.2%、女性 48.8%）がNPO活動に参加したい。男女とも、自然環境保護・リサイクル推進（男性 18.6%、女性 18.4%）、まちづくり・むらづくり（男性 19.1%、女性 12.4%）に関心あり。



④ 関心のあること

- ・ 7割弱（男性 65.3%、女性 67.0%）が老後の生活設計について悩み・不安あり。次いで、自分の健康や家族の健康に高い関心（特に女性）。

